



株キャッチネットワーク

(株)キャッチネットワークは、愛知県西三河南部地域の刈谷、安城、高浜、知立、碧南、西尾の6市をサービスエリアとする、ケーブルテレビ・通信サービスの会社です。  
エリア内約4割のご家庭をはじめ、多くの企業様にもご利用いただいております。

子育てサポートの取り組みが認められ、厚生労働省より

「プラチナくるみ」認定されました!

(株)キャッチネットワークは、次世代育成支援対策推進法に基づき、子育てサポートについて高い水準で取り組んでいる企業として、2020年10月12日に、厚生労働大臣より「プラチナくるみ」認定を受けました。同社の子育てサポートの取り組みをご紹介します。

① ワーク・ライフ・シナジー  
「仕事も、家庭も共に充実した人生を」

当社が目指す理想的な会社とは、「社員が男女の別なく定年まで成長し続け、活躍し続けられる会社」というものです。成長や活躍という言葉には、仕事の面だけでなく、プライベートの充実も含まれています。

それを分かりやすくした概念が「ワーク・ライフ・シナジー」です。「ワーク・ライフ・バランス」という言葉のように「バランス」の概念ではなく、それぞれが互いに影響しあつて両方とも充実していくべきと社長の松永が着想したのが「ワーク・ライフ・シナジー」です。(図1)

また、当社では従業員ひとり一人の生産性向上により削減した時間を「ワーク」と「ライフ」双方の充実に振り向けることで、新たな価値が創出され一層生産性を上げるという好循環をもたらしつづけています。

その成果として、お客様や会社の利益につながっていくと社員に説明しています。(図2)

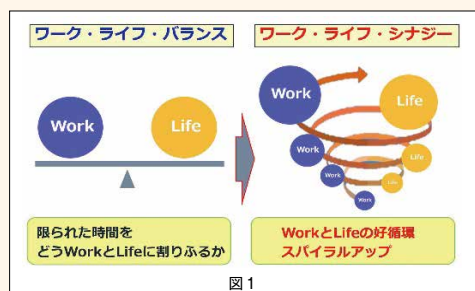


図1

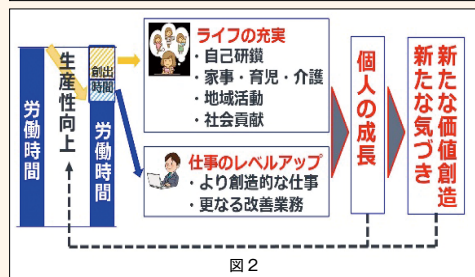


図2

② 働き方改革の全体像  
「社屋増築を機に一気に変革」

2015年に災害、大規模地震に備えた免震社屋を増築したのをきっかけに、3つの柱で改革を進めました。

(1)働く環境の改革：固定席を廃止し、「フリーアドレス」とし、在宅勤務や出張時の時間を有効に活用する「テレワーク制度」、「名刺情報の共有」、「RPA」などを導入。  
(2)勤務制度の見直し：失効する有給休暇を本人・家族の育児・介護などに使える「思いやり休暇」、「フレックス勤務制度」を完全にフレキシブルにする「コアレス化」、時短で働く社員の要望で「時間有休制度」も新設。

(3)意識の改革：製造業の課長や元アナウンサーなどワーク・ライフ・シナジーを実践している方の講演会や年に一度自身のキャリアを見つめなおし、異動を含め将来の夢を上司と実現に向け話し合うキャリアデザイン面談などを実施。

その結果、残業時間減少・有給休暇取得率増加という成果が得られました。(図3・4)

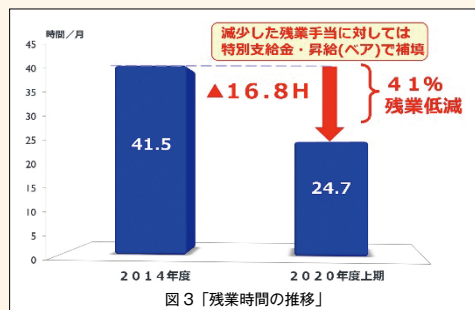


図3「残業時間の推移」

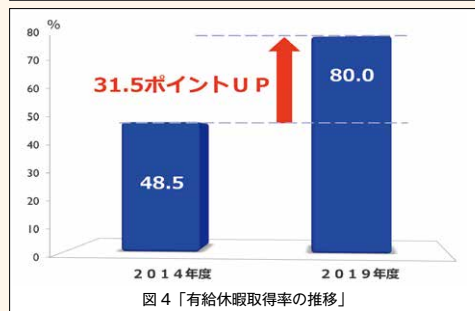


図4「有給休暇取得率の推移」

③ 子育てをサポートする



男性の育児(思いやり制度)を利用した育児休暇と育児休業については、取得を促すと当初は本人だけでなく上司も、「取得は不要、抜けると仕事が停滞し困る」という反応でした。そこで育児取得面談と称し、本人・上司と人事総務課の三者で面談を実施し、どうすれば休暇が取得できるのかを話し合うことになりました。今は共働きの家庭も多いので、出産直後だけでなく、奥様の復職時に休暇を取得し育児サポートすることをお奨めするなどの助言も行いました。この取り組みが功を奏し、最初は1日だけの取得から、1週間、2週間と徐々に伸び、今では新米パパさん全員が育児を取得しています。

「プラチナくるみ」とは、次世代育成支援対策推進法に基づいて行動計画を策定し、その目標を達成した企業として「くるみ」認定を受けた企業の中から、さらに高い水準で両立支援の取り組みを行っている企業に与えられる特例認定です。